

木曾川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託

プロポーザル募集要項

岐阜県観光文化スポーツ部
観光資源活用課

目次

	【ページ】
第1 募集の内容	1
1 委託業務名	
2 業務内容等	
3 委託業務期間	
4 委託費の上限	
第2 応募に係る事項	1
1 参加資格	
2 企画提案書の作成	
3 応募の手続等	
第3 提案評価に係る事項	5
1 評価方法	
2 評価会議	
3 評価項目及び評価内容	
4 最優秀提案者の選定	
5 提案者が1者又はない場合の取扱い	
6 選定結果の通知及び公表	
第4 契約の締結	7
第5 業務の適正な実施に関する事項	7
1 関係法令の順守	
2 業務の一括再委託の禁止	
3 個人情報保護	
4 守秘義務	
5 立入検査等	
第6 業務の継続が困難となった場合の措置について	7
1 受託者の責に帰すべき事由により業務の継続が困難となった場合	
2 その他の事由により業務の継続が困難となった場合	
第7 その他	8
第8 問合せ先及び各種書類の提出先	8
各種様式等	9
別表 評価項目及び評価基準	16

プロポーザル募集要項

木曽川中流域の誘客促進及び観光消費額の拡大を図ることを目的とした「木曽川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託」について、プロポーザル（企画提案）参加事業者を募集します。

第1 募集の内容

1 委託業務名

木曽川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託

2 業務内容等

別紙「木曽川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託仕様書」のとおり

3 委託業務期間

契約締結日から令和7年12月26日（金）までの間

4 委託費の上限

9,982,500円（消費税及び地方消費税を含む）

※委託費の上限を超える見積額の提案は失格とします。

第2 応募に係る事項

1 参加資格

プロポーザルに参加できる者は、以下の条件を満たすものとします。

(1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 役員に、次のア又はイのいずれかに該当する者がいないこと。

ア 破産者で復権を得ない者

イ 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者

(3) 次のアからウまでのいずれかに該当する者でないこと。

ア 民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（同法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者であっても、手続開始の決定後、岐阜県が別に定める手続に基づく入札参加資格の受付がなされている者を除く。）

イ 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立て（同法附則第2条の規定によりなお従前の例によることとされる更生事件に係るものを含む。以下同じ。）がなされている者（同法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者であっても、手続開始の決定後、岐阜県が別に定める手続に基づく入札参加資格の受付がなされている者を除く。）

ウ 破産法（平成16年法律第75号）に基づき破産手続開始の申立てがなさ

れた者及びその開始決定がされている者（同法附則第 3 条第 1 項の規定によりなお従前の例によることとされる破産事件に係るものを含む。）

- (4) 岐阜県入札参加資格者名簿（建設工事以外）に、プロポーザル参加申込期限日までに登載されている者であること。
- (5) 岐阜県から、岐阜県製造の請負、物件の買入れその他の契約に係る入札参加資格停止措置要領又は岐阜県が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱に基づく入札参加資格停止措置を、プロポーザル参加申込日からプロポーザル評価会議の日までの期間内に受けていないこと。又は、同要綱別表に掲げる措置要件に該当しないこと。
- (6) プロポーザル参加申込の日において、国税及び地方税の滞納がないこと。
- (7) 法令等の規定による官公署免許、許可又は認可を受けている必要がある事業提案を行うにあたっては、当該免許、許可、認可を受けていること。
- (8) 宗教活動や政治活動を主たる目的とする法人でないこと。
- (9) 平成30年度以降に、国又は地方公共団体が実施した1万人規模程度の観光誘客イベント業務を受託した実績を有していること。

2 企画提案書の作成

以下の（1）から（2）の項目について、企画提案書（様式4）により、事業を企画・提案してください。なお、企画提案書は、日本工業規格A4（一部A3版資料折込使用可）とします。また、企画書で使用する言語は日本語、通貨は円とします。

(1) 業務の実施計画

- ①フラッグシップイベント「(仮称) 日本ライン・KISOGAWA River to Summit 2025」の開催
 - ・イベントの開催
 - ・イベント広報・中流域プロモーション
 - ・全体管理
- ②上記に係るスケジュールに関する提案
- ③その他

(2) 業務全体の実施体制

- ① 本業務に類する事業の実施実績（実績がある場合に記入）
- ② 業務の実施体制
- ③ 業務実施責任者の知識・経験・資格等

3 応募の手続等

(1) スケジュール

項目	日程
① 募集要項等の公表・配布	令和7年4月22日(火)～令和7年5月9日(金)
② 募集要項等に関する質問受付	令和7年4月22日(火)～令和7年5月9日(金)
③ プロポーザル参加申込受付期間	令和7年4月22日(火)～令和7年5月9日(金)

④ 企画提案書の受付期間	令和7年4月22日(火)～令和7年5月23日(金)
⑤ プロポーザル評価会議	令和7年5月下旬 [予定]
⑥ 審査結果の通知・公表	令和7年6月上旬 [予定]

(2) 募集要項等の公表・配布

① 配布期間

令和7年4月22日(火)～令和7年5月9日(金) (閉庁日を除く)
午前8時30分～午後5時15分 (最終日は正午まで)

② 配布場所

県ホームページからダウンロードしてください。

https://www.pref.gifu.lg.jp/bid/search/search.php?search_bid_kwd=&ctg%5B%5D=5&sec02=0&sec01=0&date1=&date2=&search=1

※ホームページからのダウンロードが困難である場合は以下で配布します。

岐阜県観光文化スポーツ部 観光資源活用課 観光コンテンツ係

(〒500-8570 岐阜市藪田南2丁目1番1号 岐阜県庁10階)

※入庁には手続きが必要です。県ホームページの入庁フローをご参考ください。

※郵送での配布は行いません。

(3) 説明会の開催、募集要項等に係る質問書の受付及び回答の公表

① 説明会の開催

説明会は開催しません。

② 質問書受付期間

令和7年4月22日(火)～令和7年5月9日(金) (閉庁日を除く)
午前8時30分～午後5時15分 (最終日は正午まで)

③ 質問書提出方法

質問書(様式1)を観光資源活用課あてに電子メールにファイル(ファイル形式は、Microsoft Wordとしてください。)を添付し提出してください。その他の方法による質問には回答を行いません。

電子メールアドレス：c11337@pref.gifu.lg.jp (観光資源活用課)

※電子メールの件名に「【質問】木曾川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託」と記載してください。

※提出後は、後記の提出先に確認の電話をしてください。

④ 回答

質問に対する回答は、競争上の地位その他正当な利害を害するおそれのあるものを除き、随時、岐阜県ホームページ内の以下のページにて公開します。

https://www.pref.gifu.lg.jp/bid/search/search.php?search_bid_kwd=&ctg%5B%5D=5&sec02=0&sec01=0&date1=&date2=&search=1

(4) 参加申込受付

① 受付期間

令和7年4月22日(火)～令和7年5月9日(金) (閉庁日を除く)
午前8時30分～午後5時15分 (最終日は正午まで)

② 提出方法

参加申込書(様式2)を観光資源活用課まで持参又は郵送により提出(期間内に必着)してください。郵送の場合は電話により送達確認をしてください。

(5) 企画提案書等書類の受付

① 受付期間

令和7年4月22日(火)～令和7年5月23日(金) (閉庁日を除く)
午前8時30分～午後5時15分 (最終日は正午まで)

② 提出書類

- (ア) 企画提案書(様式4)
- (イ) 見積書(任意様式)
- (ウ) 法人等概要書(別紙1)
- (エ) 行政機関等からの業務受託実績書(別紙2)
- (オ) 社会的課題への取組状況(別紙3)

③ 提出部数

8部(正本1部、副本7部)

④ 提出方法

上記②提出書類を観光資源活用課まで持参又は郵送により提出(期間内に必着)してください。郵送の場合は電話により送達確認をしてください。

⑤ 注意事項

県が必要と認める場合は、追加資料の提出を求める場合があります。

(6) プロポーザル参加に際しての注意事項

① 失格(無効)事由

以下のいずれかの事項に該当する場合は、失格又は無効となります。

- (ア) 提出期限を過ぎて提出書類が提出された場合
- (イ) 提出した書類に虚偽の内容を記載した場合
- (ウ) 評価の公平性に影響を与える行為があった場合
- (エ) 募集要項に違反すると認められる場合
- (オ) 評価会議構成員に対して、直接、間接を問わず故意に接触を求めた場合
- (カ) 他の提案者と応募提案の内容又はその意思について相談を行った場合
- (キ) 事業者選定終了までの間に、他の提案者に対して応募提案の内容を意図的に開示した場合
- (ク) 委託費の上限を超える見積額の提案をした場合
- (ケ) その他選定結果に影響を及ぼすおそれのある不正行為があった場合

② 著作権・特許権等

提出書類の内容に含まれる著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権その

他日本国の法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっている事業手法、維持管理手法等を用いた結果生じた事象に係る責任は、すべて提出者が負うものとしします。

③ 複数提案の禁止

複数の提案書の提出はできません。

④ 提出書類変更の禁止

提出期限後の提出書類の変更、差し替え若しくは再提出は認めません。(軽微な修正を除く。)

⑤ 返却等

提出書類は、理由の如何を問わず返却しません。

⑥ 費用負担

企画提案書の作成、提出等プロポーザル参加に要する経費等は、すべて参加者の負担としします。

⑦ その他

(ア) プロポーザル参加申込書を提出した場合であっても、期限までに企画提案書の提出がなされない場合は、辞退したものとみなします。

(イ) 参加者は、企画提案書の提出をもって、募集要項及び別添「委託業務仕様書」の記載内容に同意したものとみなします。

(ウ) 提出された企画提案書等は、岐阜県情報公開条例（平成12年条例第56号）に基づく情報公開請求の対象となります。

(エ) 企画提案書の提出後に辞退をする場合は、評価会議開催日前日（評価会議開催日前日が休日の場合は、その直前の平日）の正午までに、プロポーザル参加辞退届（様式3）を観光資源活用課に持参又は郵送により申し出てください。

※郵送の場合は、郵送後、後記の提出先に確認の電話をしてください。

(7) 見積書作成にあたっての注意事項

① 提案金額は、委託期間中の本業務に係る費用の見込み額としします。

② 消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか、免税事業者であるかに関わらず、見積もった金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した額を見積書に記載してください。

第3 提案評価に係る事項

1 評価方法

評価は、県が別に定める構成員により組織された「木曾川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託プロポーザル評価会議」（以下、「評価会議」という。）が行います。

なお、評価会議では、提出書類及びプロポーザル参加者によるプレゼンテーション内容を基に、競争性・透明性の確保に十分に配慮しながら、企画提案の内容、事業の実施能力等を評価・採点し審査の上、最優秀提案者を選定します。

2 評価会議

開催日時：令和7年5月下旬（予定）

開催場所：岐阜県庁内会議室（予定）

企画提案の所要時間（予定）

- ・プレゼンテーション 15分間以内
- ・質疑応答 10分間程度

注意事項：

- ・プレゼンテーション参加人数は、1提案者あたり2名までとします。
- ・評価会議当日、新たに説明資料を追加することはできません。
- ・パソコン、プロジェクター等の機材は使用できません。受付期間内に提出した資料のみで、プレゼンテーションを実施してください。
- ・プレゼンテーション参加者は、他の参加者の企画提案を傍聴することはできません。
- ・指定時間に遅れた場合は、評価会議への参加を認めません。

3 評価項目及び評価内容

別表「評価項目及び評価基準」のとおり

4 最優秀提案者の選定

基準点を満たしており、かつ、各評価会議構成員の順位点の合計が最も高い提案者を最優秀提案者として選定します。

各評価会議構成員の順位点の合計が同じである者が複数いる場合は、原則として提案金額の安価な者を最優秀提案者として選定します。

なお、順位点の合計及び提案金額が同じである者が複数いる場合は、くじ引きにより決するものとします。

5 提案者が1者又はない場合の取扱い

提案者が1者のみの場合であっても評価は実施し、基準点を満たすときは、当該応募者を最優秀提案者として選定します。また、基準点に満たない場合、または提案者がない場合には、再度公募を実施します。

6 選定結果の通知及び公表

選定結果は選定後、速やかに参加者に通知するとともに、次の内容をホームページ上で公表します。

- ① 最優秀提案者の名称及び評価点
- ② 全提案者の名称（申込順）
- ③ 全提案者の評価点（得点順）

※価格点及び提案金額を含む。提案者の名称は秘匿。ただし、応募者が2者以上の場合は公表しない。

- ④ 最優秀提案者の選定理由
- ⑤ 評価会議構成員の氏名

- ⑥ 最優秀提案者と契約交渉の相手方が異なる場合はその理由

第4 契約の締結

選定した最優秀提案者と県が協議し、委託業務に係る仕様を確定させた上で、契約を締結します。仕様書の内容は、提案の内容が基本となりますが、協議により、必要に応じて内容を変更した上で契約を締結するため、委託契約額が見積額と同じになるとは限りません。

なお、契約が不調に終わった場合は、次点の者と交渉するものとします。

最優秀提案者決定後、電子契約サービスを利用して電子契約を締結するか否かの希望の確認を行います。電子契約による契約の締結を希望する場合、速やかに県あてに「電子契約同意書兼メールアドレス確認書」を提出してください。

第5 業務の適正な実施に関する事項

1 関係法令の遵守

受託者は、事業の実施にあたっては、関係法令を遵守する必要があります。

2 業務の一括再委託の禁止

受託者は、受託者が行う業務を一括して第三者に委託し、又は請け負わせることはできません。

3 個人情報保護

受託者が業務を行うに当たって個人情報を取り扱う場合には、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）、及び岐阜県個人情報取扱事務基準（平成11年3月5日付 総第398号）に基づく別記「個人情報取扱特記事項」を遵守し、その取扱いに十分留意すること。

4 守秘義務

受託者は、業務を行うにあたり、業務上知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用することはできません。また、業務終了後も同様とします。

5 立入検査等

県は、事業の執行の適正を期するため必要があるときは、受託者に対して報告をさせ、又は事務所に立ち入り、関係帳簿類、その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問を行うことができるものとします。

第6 業務の継続が困難となった場合の措置について

県と受託者との契約期間中において、受託者による業務の継続が困難になった場合の措置は、次のとおりとします。

1 受託者の責に帰すべき事由により業務の継続が困難となった場合

受託者の責に帰すべき事由により業務の継続が困難となった場合には、県は契約の取消しができることとします。この場合、県に生じた損害は、受託者が賠償するものとし

ます。なお、受託者は次期受託者が円滑かつ支障なく当事業の業務を遂行できるよう、引継ぎを行うものとします。

2 その他の事由により業務の継続が困難となった場合

災害その他不可抗力等、県及び受託者双方の責に帰すことができない事由により業務の継続が困難となった場合、業務継続の可否について協議するものとします。一定期間内に協議が整わない場合、それぞれ、事前に書面で通知することにより契約を解除できるものとします。

なお、委託期間終了若しくは契約の取消しなどにより次期受託者に業務を引き継ぐ際は、円滑な引継ぎに協力するとともに、必要なデータ等を遅滞なく提供することとします。

第7 その他

最優秀提案者が、プロポーザル評価会議の日から本契約締結の日までの期間内に県から「岐阜県製造の請負、物件の買入れその他の契約に係る入札参加資格停止措置要領」及び「岐阜県が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱」に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、当該最優秀提案者と契約を締結しないものとします。また、契約後に同要綱に基づく入札参加停止措置を受けた場合は、原則として契約を解除します。

第8 問合せ先及び各種書類の提出先

〒500-8570 岐阜市藪田南2丁目1番1号（岐阜県庁10階）
岐阜県観光文化スポーツ部観光資源活用課 観光コンテンツ係
TEL：058-272-8396（直通）
電子メールアドレス：c11337@pref.gifu.lg.jp

様式 1

令和 年 月 日

岐阜県観光資源活用課長 様

木曾川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託
質 問 書

令和 7 年度木曾川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託プロポーザル
募集要項等について、質問事項がありますので提出します。

企業名（団体名）：

所 在 地：

担 当 者 名：

電 話：

電 子 メ ー ル：

質問項目	(募集要項または仕様書の別・ページ数等)
内 容	

(注意) 質問事項は、当様式 1 枚につき 1 問とし、簡潔に記載してください。

令和 年 月 日

岐阜県知事 江崎 禎英 様

木曾川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託
プロポーザル参加申込書

【申込者】

所在地

法人等名称

代表者職・氏名

印

〔事務担当者〕

所属部署

役職

氏名

電話番号

E-mail

私は、木曾川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託プロポーザル募集要項に基づき、当該プロポーザルに参加します。

なお、提出書類の記載事項はすべて事実と相違なく、かつ、同業務プロポーザル募集要項第2-1（参加資格）に定める資格要件を満たしていることを誓約します。公募要項 第2-1（10）の実績は以下の通りです。

業務名称	実施時期	発注者(担当部署名を含む)

※適宜行を追加すること

様式 3

令和 年 月 日

岐阜県知事 江崎 禎英 様

木曾川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託
プロポーザル参加辞退届

【申込者】

所在地

法人等名称

代表者職・氏名

印

私は、木曾川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託に係るプロポーザルについて参加を辞退します。

様式 4

木曾川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託
企画提案書

岐阜県知事 江崎 禎英 様

所在地
法人等名称
代表者職・氏名 印

岐阜県が実施する木曾川中流域フラッグシップイベント開催・プロモーション業務委託に係る企画提案に参加したいので、下記指定の書類を添えて企画提案書を提出します。

記

添付書類

1 企画提案書

※プロポーザル募集要項第2-2（企画提案書の作成）で指定する事項を、本紙を含まず、A4用紙30枚以内（A3用紙は2枚に換算。下記2～5の事項を除く。）で記載してください。

※文字サイズは10ポイント以上としてください。

※仕様書、公募要項を参考に、具体的かつ簡潔に記載してください。

2 見積書（積算）

3 法人等概要書（別紙1）

4 行政機関等からの業務受託実績書（別紙2）

5 社会的課題への取り組み状況（別紙3）

(別紙1)

法人等の概要書

項目	内容	
法人・団体等の名称		
代表者職・氏名		
事業所の所在地	〒 住所	
法人・団体等の 目的と業務概要		
設立年月日	年 月 日	
従業員数	名	
法人・団体等の組織図 ※「別紙のとおり」とし、書類を 添付しても構いません。		
担当者職氏名 及び連絡先	職・氏名	
	電話	
	FAX	
	E-mail	

- 注) 1 すべての項目を記載してください。
- 2 各項目の枠取りについては、記載内容に応じ、変更可とします。
- 3 全ての項目が記載されていることを条件に、別紙（横向き可）での提出を認めます。
- 4 共同体については、それぞれの構成員ごとに作成してください。

(別紙2)

行政機関等からの業務受託実績書

発注者名			
業務の名称			
業務場所の都道府県			
契約額 (円)			
契約期間			
業務の概要			
委託業務との関連性 活用できるノウハウ			

注) 1 平成30年度以降に国及び地方自治体等 (DMO含む) から受託した業務の実績について記載してください。

2 すべての項目について記載してください。

3 記載欄が不足する場合は、この様式を複写して記載してください。

4 全ての項目が記載されていることを条件に、別紙 (横向き可) での提出を認めます。(別紙3)

社会的課題への取り組み状況

※下表の「評価の要件」を確認し、該当するものにチェックを入れてください。

※「認定」「達成」等をチェックした場合は、それを証明する「添付書類」を添付してください。

項目	評価の要件
環境面の取り組み(1点)	<p>◆ エコアクション21に登録しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 登録している <input type="checkbox"/> 登録していない</p> <p>(添付書類)</p> <p>・登録状況が分かる書類の写し(有効期限内のもの)</p>
社会面の取り組み(1点)	<p>◆ 岐阜県「ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」に認定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 認定されている <input type="checkbox"/> 認定されていない</p> <p>(添付書類)</p> <p>・認定状況が分かる書類写し</p>
経済面の取り組み(1点)	<p>◆ 経済産業省「DX認定制度」に登録しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 登録している <input type="checkbox"/> 登録していない</p> <p>(添付書類)</p> <p>・登録状況が分かる書類の写し(有効期限内のもの)</p>
ぎふSDGs推進パートナー登録制度への登録状況(最大2点)	<p>◆ ぎふSDGs推進パートナーであるか。</p> <p><input type="checkbox"/> シルバーパートナー(1点)</p> <p><input type="checkbox"/> ゴールドパートナー(2点)</p> <p><input type="checkbox"/> 登録していない</p> <p>(添付書類)</p> <p>・登録状況が分かる書類写し(有効期限内のもの)</p>

別表

評価項目及び評価基準

下表に基づき、各項目の配点の合計を100点満点として評価し、構成員の評価点の合計により算出する。なお、業務の実施計画及び実施主体の適正性に関する評価点合計値の6割を最低基準とする。

(1) 事業の実施計画に関する評価

評価項目			評価基準点					
1	イベント開催(共通事項)	イベント期間中だけでなく、持続的な中流域への来訪や消費拡大にも繋がるよう、中流域自体の魅力が伝わる開催提案となっているか。	非常に優秀 (15)	優秀 (12)	普通 (8)	やや劣る (3)	劣る (0)	
2	マルシェ・イベント(各会場)	魅力的な提案であるか。また、中流域の周遊性を高め、来場者の消費購買行動につながるものであるか。	非常に優秀 (10)	優秀 (8)	普通 (5)	やや劣る (2)	劣る (0)	
3	集客企画(リバーポートパーク美濃加茂)	ファミリー層に着目しつつ、話題性や注目度が高く、より多くの集客が見込める提案であるか。また、効果的かつ現実的なものであるか。	非常に優秀 (10)	優秀 (8)	普通 (5)	やや劣る (2)	劣る (0)	
4	広報(イベント)	イベントの集客や認知度向上を目的とした広報手法は、具体的かつ効果的な提案となっているか。	非常に優秀 (10)	優秀 (8)	普通 (5)	やや劣る (2)	劣る (0)	
	広報(木曽川中流域一帯)	イベント広報に合わせて行う中流域一体のプロモーションは、周遊性を高め消費購買行動に繋がるものであるか。	非常に優秀 (10)	優秀 (8)	普通 (5)	やや劣る (2)	劣る (0)	
5	全体管理	事前準備、当日運営、不測の事態への対応等、円滑に対応できる体制がとられているか。	非常に優秀 (5)	優秀 (4)	普通 (3)	やや劣る (1)	劣る (0)	
小 計			60点満点					

(2) 実施主体の適正性に関する評価

評価項目			評価基準点					
1	実施主体について	事業全体を問題なく実施できる組織および人員体制が整っているか。	非常に優秀 (10)	優秀 (8)	普通 (5)	やや劣る (2)	劣る (0)	
2	スケジュールについて	事業完了まで、無理のないスケジュールとなっているか。	非常に優秀 (10)	優秀 (8)	普通 (5)	やや劣る (2)	劣る (0)	
3	業務遂行能力について	過去の受託実績、業務実績等に鑑み、本委託業務の遂行能力があると認められるか。	非常に優秀 (10)	優秀 (8)	普通 (5)	やや劣る (2)	劣る (0)	
4	事業費について	事業費の積算は妥当で、価格の点で優れた提案となっているか。	非常に優秀 (5)	優秀 (4)	普通 (3)	やや劣る (1)	劣る (0)	
5	社会的課題への取組	「環境面の取り組み」(1点)「社会面の取組み」(1点)「経済面の取組み」(1点)といったSDGsの三側面への取組みがなされているか。ぎふSDGs推進パートナー登録制度の「シルバーパートナー」に登録されているか。(1点)ぎふSDGs推進パートナー登録制度の「ゴールドパートナー」に登録されているか。(2点)	非常に優秀 (5)	優秀 (4)	普通 (3)	やや劣る (2)	劣る (1)	非常に劣る (0)
小 計			40点満点					